

講 演

マンガを通して

人権について考える

～メガネ男子や方言女子の
イメージはどう変わったか～

京都精華大学副学長・マンガ学部長教授

吉村 和真 さん

プロフィール

1971年福岡県生まれ。熊本大学大学院修士課程修了。著作・論文を多数執筆するかたわら、日本マンガ学会設立や京都国際マンガミュージアムの設立に尽力。大学などの漫画企画展の立案や運営に携わるなど、マンガ研究の中心人物の一人として知られる。



マンガの登場人物には、ヒーロー・ヒロインに善玉・悪玉、トリックスターに萌えキャラなど、さまざまな役割や性格の持ち主がいます。

実はそこに、私たちが抱えるステレオタイプや偏見が潜んでいるのです。

マンガを一緒に読みながら、そのことの意味を考えてみましょう。

入場

無料

(申込不要)

4月11日(土)

午後1時～3時 (開場12時30分)

生駒市コミュニティセンター文化ホール

— 駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。 —

定員

271人

(当日先着順)

手話通訳と要約筆記があります。

託児が必要な人は、3月30日(月)～4月2日(木)に、人権施策課に電話で申し込んでください。

(就学前の子どもが対象。託児代100円が必要)

問い合わせ 人権施策課 (☎0743-74-1111 内線656)

